

職名	氏名	主な授業科目
専任講師	千葉修平	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと音楽表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ・子どもと表現 ・保育実習指導Ⅰ ・保育実習ⅠA・Ⅱ

略歴	<p>弘前大学教育学部生涯教育課程芸術文化専攻 卒業 弘前大学大学院教育学研究科教科教育専攻音楽科教育専修 修了</p> <p>弘前大学教育学部附属特別支援学校 臨時教諭 (2015年) 弘前市立相馬中学校 臨時講師 (2016年) 青森明の星短期大学子ども福祉未来学科保育専攻 専任講師 (2017年～現在に至る)</p> <p>教育学修士</p>
研究業績	<p>【著書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年『コンパス音楽表現』第6章1,2,コラム 第7章2, 建帛社 (共著: 編著者: 駒久美子, 味府美香 著者: 疇地希美, 荒巻シャケ, 甲斐万里子, 木下和彦, 香曾我部琢, 千葉修平, 二宮紀子, 早川富美子, 藤尾かの子, 古松律子, 松本哲平, 若谷啓子) <p>【論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年「図形楽譜と創作」音楽の授業づくりジャーナル第3号, pp. 36-46, Webジャーナル (共著: 鈴木千明, 今田匡彦, 千葉修平) ・2019年「環境音から考える表現領域について」青森明の星短期大学研究紀要第44号, pp. 15-22, CD-ROM ・2018年「保育内容表現Ⅱにおけるアクティブ・ラーニングの実践と教育評価について」青森明の星短期大学研究紀要第43号, pp. 13-24 (共著: 泉谷千晶・木戸永二・高橋多恵子・千葉修平・笹森誠・小関潤子) ・2017年「Of A-Pseudo Homology between Sonorous Air and Musical Interpretation in Music Education」APSMER2017 Proceedings, pp. 161-167 ・2015年「Bringing Alexander Technique, as an Alternative Educational Policy, into Music Education in Japan」Hong Kong Institute of Education 2015電子版 (共著: 今田匡彦・千葉修平) 査読あり ・2015年「音楽と言葉—疑似同性的の問題点について—」修士論文 (弘前大学教育学研究科) ・2013年「An Application of the Alexander Technique to Music Education in Japan」National Institute of Education: CD-ROM (共著: 今田匡彦・千葉修平) 査読あり <p>【学会発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年「サウンド・エデュケーションは学生の音楽観をどのように変容させるのか—短期大学保育者養成校での実践と半構造化インタビューを通して—」日本音楽教育学会全国大会 (京都大会オンライン) ・2019年「Out of Logos —哲学身体論によるUniversal Designの構築」日本音楽教育学会全国大会 (東京芸術大学) (共同企画: 今田匡彦, 塚原健太, 小枝洋平, 千葉修平) ・2017年 常任理事企画プロジェクト研究「若手研究者が考える音楽教育学の今後 (第2年次) —研究方法論の追求から学と学会の在り方を見通す—」日本音楽教育学会全国大会 (愛知教育大学) (パネリスト: 甲斐万里子・高橋潤子・千葉修平・塚原健太 企画・司会: 今田匡彦 企画: 坪能由紀子) ・2015年「音楽科教育における言語活動とは—ナティエのレヴィ=ストロース批判を中心に—」日本音楽教育学会全国大会 (シーガイアコンベンションセンター) ・2015年「音楽と言葉—疑似同性的の問題点について—」日本音楽教育学会東北地区例会 (弘前大学) ・2014年「音と身体—プラトン哲学における身体の捉え方—」日本音楽教育学会東北地区例会 (秋田大学) ・2014年「A Philosophical View of Music Education: Using the Concept of New Musicology by Nicholas Cook」The 7th Hirosaki University International Symposium (Hirosaki University) ・2014年「音楽の〈肌理〉とはなにか —合奏, 身体, 視覚芸術をキーワードとして—」日本音楽教育学会全国大会 (聖心女子大学) (共同発表: 今田匡彦, 熊谷敬太, 高橋憲人, 千葉修平) ・2014年「音楽教育と哲学—ニコラス・クックの音楽論を中心に—」日本音楽教育学会全国大会 (聖心女子大学) ・2013年「An Application of the Alexander Technique to Music Education in Japan」Asia Pasific Society for Music Education (Nanyang Technological University) ・2013年「音楽における「動き」とは」日本音楽教育学会全国大会 (弘前大学) <p>【報告書など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年「Out of Logos —哲学身体論によるUniversal Designの構築」(分担執筆: 今田匡彦, 塚原健太, 小枝洋平) ・2018年「若手研究者が考える音楽教育学の今後 (第2年次) —研究方法論の追求から学と学会の在り方を見通す—」音楽教育学第47号第2号, pp. 82-89 (分担執筆: 今田匡彦, 千葉修平, 高橋潤子, 甲斐万里子, 塚原健太 本人担当部分は2節「「同性的」研究に関する方法論の課題」pp. 82-84) ・2018年「例会報告: 東北地区例会報告」音楽教育学第48巻第1号, pp. 40-41 ・2014年「音楽の〈肌理〉とはなにか—合奏, 身体, 視覚芸術をキーワードとして—」音楽教育学第44号第2号, pp. 55-59 (分担執筆: 今田匡彦, 熊谷敬太, 高橋憲人 本人担当部分は3節「解釈による〈肌理〉の消失」pp. 56-57) <p>【演奏】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年「モーストリー・コンサート オーパス13」 ・2019年「モーストリー・コンサート オーパス11」
専門分野 研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽教育学 ・サウンド・エデュケーション ・打楽器教育
学会及び教育・ 社会活動等	<p>【所属学会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本音楽教育学会 ・日本サウンドスケープ協会 ・保育学会 <p>【教育・社会活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年 日本音楽教育学会 第16回音楽教育ゼミナール 実行委員 ・2017年 第5回青森県私立幼稚園新採用教員研修会 講師